

りんごのもり 林檎の森



特集1

ニュージーランドにおける
リンゴ生産・輸出動向

特集2

4月からの職員配置について



NZ最大のりんご産地
ホークスベイ

特集

ニュージーランドにおける りんご生産・輸出動向

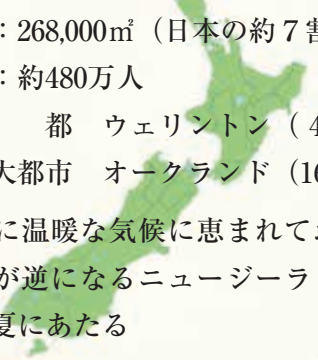
●ニュージーランド“概況”

面積：268,000㎡（日本の約7割）

人口：約480万人

- ・首都 ウェリントン（40万人）
- ・最大都市 オークランド（160万人）

※全体的に温暖な気候に恵まれており、北半球とは季節が逆になるニュージーランドは12月から2月が夏にあたる



日本から南に約9,000km
離れたニュージーランド（NZ）
は、北島と南島の2つの主要な島
から構成され、気候はほぼ全土が

西岸海洋性気候に含
まれており、夏は涼
しく、冬は強烈な寒
波もない。1年を通
して温暖な気候であ
るが、両島とも3,0
00m級の高山が連
なり、有名なスキー
場が点在する。農業

街では日本車が多く走っていた



オークランド

肥沃な土壌、豊富な水資源に恵まれたりんご栽培の最適地

については酪農や畜産が盛んであり、近年、果樹や青果物の栽培にも力を注いでいるという。

NZにおけるリンゴ栽培面積は、2007年の8,770 haから2012年には8,260 haと減少したものの、2017年には9,160 haと増えている。この栽培面積は本県の結果樹面積19,900 ha（H28農林水産統計）と比較すると46%しかない。一方、生産量は52万トンで本県を生産量を上回っている。一反歩当たりの収穫量を比較すると本県の25倍（5.7t）となるから驚きだ。品種はロイヤルガラが28%で最も多く、次いでブレイバーン16%、ふじ10%、ジャズ10%、パシフィッククイーン8%の順となっている。人口480万人と、日本よりはるかに少ない農業国として、リンゴ産業の生き残りの戦略は、北半球のオフシーズンに収穫期を迎える利点を最大の武器とした輸出であり、その量は年間約34万トンで生産量の約60%を占める。輸出国は2017年でイギリスを主とするヨーロッパ、北米、アジア市場など65か国にも及ぶ。最近では、オーストラリア、



歌を歌いながら陽気に収穫する作業員



SSはトラクター牽引の2,000ℓ



パシフィックローズ

Visited New



大自然に広がるリンゴ園（T&G社）



チリ、南アフリカなど南半球のリンゴ生産国との輸出競争に加え、鮮度保持剤スマートフレッシュの普及拡大により長期貯蔵が可能となった北半球産リンゴとの販売競争が激化している。リンゴ生産地域は、北島のホークスベイ地域の

ほか、南島のネルソン、オタゴ地域であるが、今回訪れたホークスベイは全国の栽培面積のうち61%を占める最大の産地である。

Plant & Food Research社

Plant & Food Research社はリンゴとナシを中心とした新品種の開発や耐病性、生育管理などについて研究を行っている。2009年に2つの国立研究所が合併により法人化された。研究予算は国が40%支出し、そのほかはジャズ・エンヴィイなどから得られるロイヤリティ収入と企業から拠出される品種育成資金などで賄っている。

NZのリンゴ産業は輸出が主体であり、Plant & Food Research社におけるリンゴの育種目標は、輸出先の嗜好に合った品種を育成することにあり、食味・大きさはもちろんのこと、耐病性（黒星病・うどんこ病・火傷病・ワタムシ）、赤肉品種等の育成についても行っている。

Plant & Food Research社が開発したジャズ、エンヴィイ、パシフィックローズは、T & G社がライセンス



大玉で甘味の強い「ダズル」

スを有し、世界の主産国で栽培されている。最近の育成品種は、スウィーティ、レモネード、ロキッツ、チェリッシュ、スミッテン、ダズルの6品種である。

品種の説明の後、リンゴの早生の選抜系統、スミッテン、ダズル、種間雑種のナシを試食した。早生の選抜系統は、ガラより2週間早い系統で、食味はやや淡泊だったが、果肉が硬く、着色は良好。スミッテンは果肉が硬く、ち密で、甘酸適和で早生系統より味は濃厚。ダズルは少し収穫が早いということだったが、大玉で甘味が強くアジア向け品種として位置づけられており、今後、日本に輸入されたとすると、有袋ふじの脅威になると思われた。

T & G社

T & G社の栽培面積は850ha（北島に700ha、南島に150ha）、2025年には1,300haまで拡大する計画を立てている。また、T & G社はホークスベイ地域に2か所、ネルソンに1か所の選果こん包施設、セントラルオタゴ地域に82,000㎡の敷地面積を持つ冷蔵施設を有しており、NZ国内複数地域に施設を持つ国内唯一の輸出業者である。

T & G社の取扱いのうち、40%をジャズ、エンヴィイ、パシフィックシリーズが占め、残りはブルーバン、ガラ、ふじ、ピンクレディ等となっている。

園地視察

園地は主に台湾・アメリカ向けの輸出園地として管理しており、品種は樹齢8～9年生のMM106台を利用したキク（着色系ふじ）とピンクレディを栽植している。栽培面積は20ha、反収はキク9トン/10a、ピンクレディ10トン/



左から新品種（名前なし）、スミッテン、チェリッシュ、レモネード、ダズル、ジャズ、黒星耐性品種（名前なし）

Plant&food RESEARCH 社



輸出を念頭に入れた品種開発が進む



育種などについて説明する研究者



新たに開発した樹形 “スーパーオーチャード”
(ロボット収穫対応樹形)



基部は主枝2本を樹列間方向へ水平に開く



新品種に向けて様々な視点から研究



生産・販売・輸出を担う最大手T&G社

10aである。近年はMM:106台の半わい化栽培が樹の巨大化などにより栽培しにくくなったことから、改植・新植はM:9台による高密植わい化栽培に転換している。

栽培にあたっては、受粉は養蜂業者と契約したミツバチ受粉とし、摘花・摘果剤を使用するほか人手による摘果も実施している。薬剤散布は9〜4月にかけて実施しており、特に開花〜幼果期の9〜10月にかけては間隔を狭めて行う。12月以降は14日間隔で散布を行う。また、果実肥大期となる10〜5月にかけてカルシウム剤散布を実施しているが、特にジャズ・エン



T&G社とのマーケティング会議の様子

ヴィ・ブレイバンについてはカルシウム欠乏が見られることから、その対策が重要なことであった。収穫は3回に分けて選りもぎを実施しているが、極端に着色不良な果実はそのまま樹冠下に落とす。

労働力は南太平洋地域からの出稼ぎにより確保しており、NZではポリネシアン出稼ぎ労働者に6〜7ヶ月の就労ビザを発行している。T&G社では労働力の確保にあたり、渡航費用の半分を助成するほか、住居の手配・勤務地(園地や選果場)への送迎等を行う。NZにおける最低賃金は15.75 NZ\$/h(約1,300円/時間)(2

詰りも自動と画期的



洗浄水にはオゾン水を使用し、
洗浄後はエアで乾燥させる



様々な販売ルートに向けて出荷



400kg収穫ビンにリンゴをあけるポリネシアン労働者



ロボット収穫に対応した2次元平面仕立て

018年4月からさらに上昇し
16.5NZ\$/t(約1,350円/
時間)となる(であるが、収穫作
業に携わる労働者については35NZ
\$/400kg(1ビン)(約2,
800円)の取れ高制をとってお

り、ポリネシアンにとつてはかな
りの高給であるとのことであった。

ロボット収穫に対応した新植園

2017年8月に新植(栽植距

離3m×1.4m)された、50haの工
ベツト園地を視察した。

品種はガラ、ジャズ、エンヴィ
であり、台木はすべてM.9T33
7で、ロボット収穫に対応した園
地とするために、2次元平面仕立
ての樹形としている。この樹形は
地上およそ60cmより上から18イン
チ(45.7cm)ごとにとリスを
8段配置し、そこに側枝を結わえ
ることで完成されるが、側枝から
発出する結果枝は18インチ内に収
まらないので、樹勢抑制剤を使用
する。最終樹高は4mを超えると
思われる。

成園時には8,000ビン(3,
200トン)、反収64トンの収穫を
計画しており、機械による収穫能
力は1ビン/6分、200ビン/日
を目標としている。また、園地の
常時雇用は5~6人を想定し、収
穫時には50人ほど臨時雇用を投入
する予定となっている。土地の取
得から苗木代・トリス代等開園
に係る費用として、10億円ほどを
投資したという。なお、NZにお
ける苗木の値段は1年木8NZ\$(6
40円)、2年木15NZ\$(1,20
0円)と日本に比べかなり安価で、

T&G社では年間25万本の苗木を
調達しているとのことだった。

ロンリ選果場視察 (Fresh Max社)

Fresh Max社はホークスベイ周辺
に3か所の選果場、計11レーンを
所有しており、今回視察した選果
場では、オーストラリアCOMPAC
社の選果システムを2レーン導入
している。

選果員は常時40人(3か所計)
雇用しており、繁忙期にはさらに
250人を雇用するとのことであつ



選果システムの概略を示した図

Fresh Max社

選果場

オーストラリアCOMPAC社の選果システムを2レーン導入しており、1日1,100ビン/400kgの選果処理を可能としている。当日はBOSTOC社のオーガニックリンゴを選果・梱包していた。



収穫ビンを反転し、果実を洗浄層へ入れる

驚くほどの選果処理量、袋



洗浄槽に浮かぶリンゴ



傷ものや格外品ははじかれ、袋詰めなどへ回る



良品は形状センサーを通り梱包される



自動袋詰め機 (口はアームでつかみ送風で広げる)



列を整え、ダンボールに詰める

市場動向調査

NZを代表するスーパーマーケットチェーンとユニ、NEW WORLD、COUNT DOWN、PAC'N SAVEがあり、ネピア、オークランドの各店舗を視察した。NZのスーパーマーケットはほとんどがスーパーバッグが無料で、レジで店員がこん包まで行いが、PACK'N SAVEはスーパーバッグが有料で、こん包は自分で行う日本式となっており、その分人件費と商品の販売価

た。選果にあたっては1日2交代で1,100ビン/日を処理可能としている。シンプルな選果機ながら高い選果能力を発揮しているのは、豊富な労働力があるからこそである。

NZにおける等級は、大きさが1カートン(18kg)あたり40、50、60、70、80、90、100、110、120、135、150、165、180、198、216玉と15階級に分けられ、このうち主力は70玉〜198玉となっており、等級はハイグレード、スタンダード、格別の3段階となっている。

格を抑えている。リンゴは基本的に量り売りで、売り場には計量機が設置されている。また、袋詰めは1.5kg詰め、平置きタイプとなっていた。

◆ ◆ ◆
今回、視察を通して危機感を感じてしまった。日照時間や平坦地の栽培・立地条件などから反収では到底及ばない。やはり、日本の完璧な着色管理による、富裕層向け販売に対応できる技術を磨いて、顧客を逃がさないようにしないとNZに追い越されてしまう。

また、葉取らずの販売方法では、あえて黄色の地色を見せて、完熟していることを消費者に見せるという方法もあるのだと勉強になった。

これからは、消費者ニーズにあった生産を行い、ターゲットを海外に奪われない守りの姿勢と新しい品種や技術の導入、新天地への販売ルート確立という攻めの姿勢を徹底していくべきだと思った。NZのリンゴ栽培はもうそこまで来ているのだから。

地域おこし協力隊 活動記 Vol.35



相馬地区地域おこし協力隊のあかりです。
ぼかぼかと暖かくなり、りんごの木々もピンク色になってきましたね！

今回は3月10日に中央公民館相馬館で開催された「そうま未来会議」の様子をご報告します。

これは、相馬地区に地域おこし協力隊が着任して今年で3年が経過したことからこれまでの活動を振り返ると同時に、地区住民を交えて地域の課題や未来について語り合うことを目的に、初めて開催されたイベントです。当日は、地区内外から約50名の方にご参加いただきました。

第1部では、協力隊と地元代表者の活動報告に加え、「頑張る相馬人トークセッション」が行われました。20年後も相馬が明るくあり続けるために必要なポイントとして、今あるものを次世代に繋げたいという「想い」や「チャレンジ精神」、また相馬で育つ子供たちに「地元愛」や「地域に関わる機会」を増やしてあげることが大事だという意見が出され、会場の皆さんも傾きながら耳を傾けていました。

第2部では、「20年後の明るい未来を考えよう」をテーマにワークショップが行われ、「若者が帰って来なくなる相馬」「日本一から世界一へ！りんごで高収入」「伝統ある祭りやイベントでカップル成立」などユニークなアイデアが発表されました。

今回のような住民参加型のワークショップは初めての試みだったのでドキドキでしたが、みなさん快く受け入れてくれたことをとても嬉しく思います。

今回出させていただいた意見を軸に、住民・協力隊・行政が一丸となって相馬をさらに住みよい地域にしていきたいと思います！

新採用職員紹介

年齢：30歳
最終学歴：弘前東高等学校
資格：危険物取扱者（丙種）など
特技：モータースポーツ

良品質な苗育成に
取り組めます！



Tsukasa Mikami

三上 司

From 水木在家
ライスセンター

年齢：22歳
最終学歴：青森県立岩木高等学校
資格：大型自動車免許など
特技：野球

機械化センターで
整備等を頑張ります！



Manan Ooba

大場 茉南

From 紙漉沢
機械化センター

年齢：18歳
最終学歴：弘前東高等学校
資格：情報技術検定2級など
特技：バドミントン

仕事を早く覚えて
テキパキ働きます！



Atsuki Kudo

工藤 純輝

From 賀田
フルーツステーション

年齢：18歳
最終学歴：青森県立弘前実業高等学校
資格：情報処理検定3級
特技：特になし

積極的な行動で
一生懸命頑張ります！



Shoko Mikami

三上 礁子

From 如来瀬
直売所「林檎の森」

果実販売動向

販売課 米澤 松太



3月は、出遅れていたイチゴの

流通量が増加しました。その要因として、東日本を中心に冷え込みが緩んだことで生育が前進したことが挙げられます。また、ひな祭りの需要や春商材の目玉としてイチゴの売り込みが活発となりました。3月中旬以降は、2番果の切り上がりと反動で3番果の出回りが少なく、不足感が強まって堅調な販売となりました。

伊予柑・デコポン等の中晩柑類については、着果不良と製品化率の悪さから流通量が少ないこと、品薄なミカンの代替としての需要から基調高で推移していました。しかし、売価の高さや食味の悪さから荷動きが鈍く、弱含みでの推移となりました。特に「デコポン」については、昨秋の長雨などの影響により酸高傾向で、割安な「不知火」の割合が多く、全体の単価

は伸び悩んでいます。

輸入果実については、国内柑橘類の品薄や食味不良を受けて、オレンジは増加傾向にありましたが、グレープフルーツ等シトラス関係はハリケーン等の気象災害による収量減に加えて、円高の影響により単価高の展開となりました。

リンゴについては、全般に小玉傾向であることから、安定した入荷と食味を背景に年明け以降、全国で小玉企画の消費宣伝を実施したことにより売り場の主力品目となり、産地在庫の少なさを反映し、概ね順調な販売となりました。しかし、3月には売価設定引上げとイチゴの増量や野菜の入荷量の回復とともに荷動きは鈍化しました。

一方、輸出については、中華圏「春節」向けの太玉系リンゴが不足し伸び悩みました。

今後、イチゴについては、気温

の上昇とともに入荷の回復が見込まれますが、中・晩柑類等については入荷が少なく、スイカについても4月下旬からの本格化から、果実全般に品薄傾向は変わらず、リンゴは引き続き主力品目として売り場が確保される見込みです。しかし、産地在庫が例年以上に少なく、好環境ではありませんが、消費地気温の上昇に伴うヤケ・褐変等の品質低下及び有袋ふじ移行時のプライスギャップによる売り場の縮小と消費の停滞に加えて、N産りんごとの競合などが懸念材料となります。

4月に入り、当JAではサンふじと有袋ふじの並行販売を実施し、円滑なリレーを実践しながら、王林、ジョナゴールド、シナノゴールドはスマートフレッシュ（MCP）処理物の販売に移行しています。品質管理の徹底を図るとともに、需給バランスを考慮した有利販売を実施します。

別 表

品 種	サンふじ	ふじ	王林	ジョナ	むつ	その他	合計
単 価(円)	2,923	4,793	2,686	3,367	4,910	2,812	2,789
前 年 比(%)	101	119	97	109	104	92	96
在庫数量(トン)	44,849	24,594	10,106	15,350	289	5,084	100,272
前 年 比(%)	71	83	90	92	95	101	79

単価は全農あおもりデータ（3/31累計）、在庫数量は県りんご果樹果作成（2月末）

生産情報

農業振興課 二上 拓哉



○りんごの生育状況

今年の積雪状況は3月29日の調査で管内ほぼ全ての調査地点で消雪が確認され、昨年よりも2週間程早い消雪となりました。

ふじの発芽は、4月4日には管内全域で確認され、昨年より5日〜7日ほど早い生育となっております。

開花については、気温は平年並みに推移した場合、黒石のりんご試験場で、ふじでは5月5日頃と予想されます。4月下旬の気温は平年より高く推移すると予想されており、生熊が早まると考えられることから、春の作業の準備を早めに行いましょう。

○春の低温に注意

開花期から幼果期における降霜や、低温による凍霜害の発生が懸念されることから、防霜ファンを設置している園地では機器の始動点検を行い、稼働状況を確認して下さい。防霜ファンを設置していない園地では燃焼資材の準備を行い、

被害の軽減に努めて下さい。燃焼資材を使用する場合は周辺環境にも十分に配慮しましょう。

○良品果実生産にむけて

高品質かつ大玉果実生産にむけて授粉を積極的に行いましょう。授粉作業を行うことで結実量を安定的に確保し、奇形果実となるのを防ぎます。

人工授粉を行う場合は、交雑和合性に注意し、中心花を主体に早く咲いた花から行いましょう。

○展葉一週間後頃の薬剤散布

りんごの生育が早めに経過していることから『展葉一週間後頃』の薬剤散布は早い地区で、4月20日頃になる見込みです。黒星病は昨年同様に菌密度が高い状況と考えられます。

そこで、薬剤による防除効果を最大限活かすために、昨年、黒星病被害が特に多く見られた園地の原因を、事例として紹介します。

■散布間隔が10日以上あった。

※昨年と同様に黒星病対策の薬剤は予防効果のみとなりますので、雨前防除で散布間隔はしっかりと守りましょう。

■散布量が少なかった。

※散布量が少ないと、薬液が葉に付着する量も少なく、内枝などには掛かっていないことが考えられるので適量散布に努めましょう。

■風が強い日の薬剤散布。

※風が強い日に散布をした場合、樹全体にまんべんなく薬がかかることが困難となり、散布ムラによつて黒星病の感染が広がってしまうので風の強い日の薬剤散布は控え、出来る限り無風に近い日に散布しましょう。

これらの事例を踏まえて丁寧な薬剤散布を行い、黒星病の被害を最小限に抑制しましょう。

農作業が本格的に始まっていきます。機械による作業は特に気をつけて行いましょう。

散布計画	散布量	散布時期	基準薬剤	希釈倍数	備考
1	250%	芽出し当時	ベフラン	1,000倍	黒星病対策
2	300%	展葉1週間後頃	ベフラン ダズバンDF マシン油	1,000倍 3,000倍 200倍	○混用順序 ①水→②マシン油→③ダズバン→④ベフラン
3	320%	開花直前	フルーツセイバー 又はユニックス顆粒 アタブロンSC	2,000倍 1,000倍 4,000倍	○黒星病の重要防除時期のため、散布量・散布間隔(10日)を厳守する。 ○殺虫剤は、開花直前・落花直後とも同一薬剤を連続散布する。
4	350%	落花直後	ユニックス顆粒 ジマンドイセン アタブロンSC 果面保護剤	2,000倍 600倍 4,000倍	

りんご病害虫防除暦 (第1回目〜4回目)

農協役員室で——ネズミ盗聴器

元農協学園長
秋田 義信



農協の役員室。此処は入場無料であつて、某農協の役員室と違つて入り易い所である。部屋の雰囲気がいよからだ。

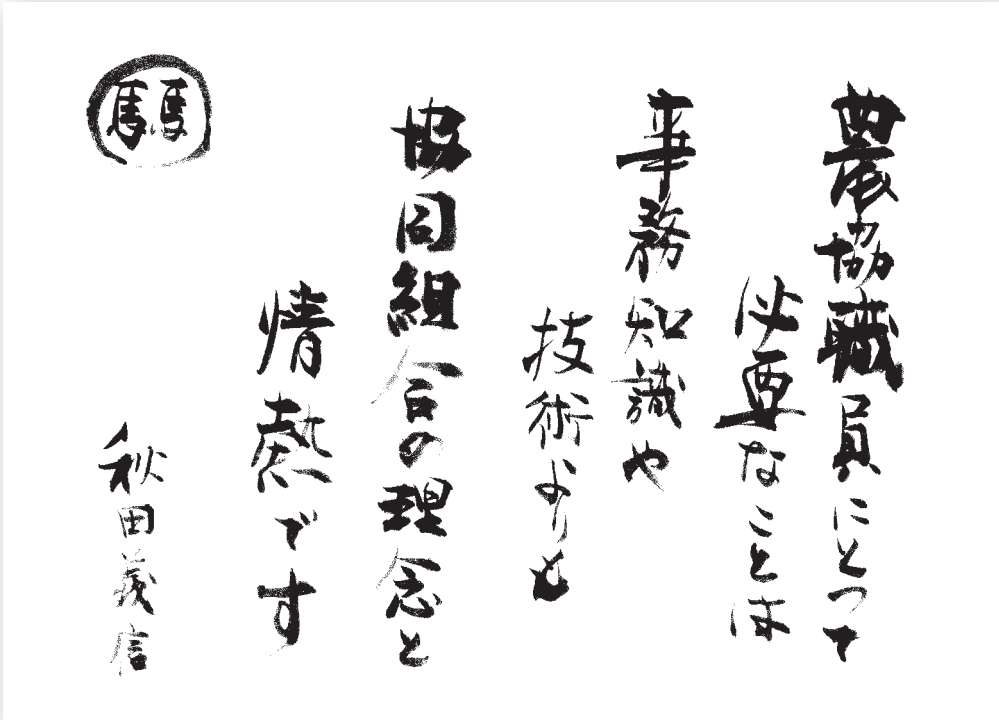
又、来ている。油売り・と・マムシ。それに今日は相馬の熊男もか。この油売りはムゴで、家に居るとオガ(妻君)にやられて、いるうしく、だから農協を逃避所になっているらしい。

また、来ている。油売り・と・マムシ。それに今日は相馬の熊男もか。この油売りはムゴで、家に居るとオガ(妻君)にやられて、いるうしく、だから農協を逃避所になっているらしい。

せだな?」
マムシ「ナンモヤ。思いあたることは、〇〇のカッチャ、オナゴいいなと、しゃべつただけだじゃ」
油売り「ウーン、それや、ヤギモジだ。風邪薬を飲ませてもマエエな——」

組合長「薬よりも、『オラの夫婦、しあわせだな』と、しゃべつてみる、薬よりも効くから」
(農協の役員室は「ダゴダサロン」でもあります。とつぞ。「林檎の森」ではヤギモジを売つていませぬ)

油売り「紙漉沢の或る人から聞いたことだが、東京から出ている「農協新聞」に、オラ方の農協の、三上拓哉さんが、全国農協宮農指導大会で、優秀賞を貰い、写真つきで大きく載っているとか」
組合長「飛馬りんごのPRもして……とつぞで、〇〇さん、今日は元気が無いなーカンジャ(風邪)ふいだが?」



昭和三年の記録(青森県総務)

村長・成田重雄、助役 成田左衛門次郎
収入役 田澤才吉

社会議員 澤田善助、山内乙之助、田澤才吉
山内天右衛門、成田末吉、大場幸太郎
中澤豊吉、成田久太郎、中澤清十郎

佐藤山吉、中島佐一

所得税多額納税者

八八四	成田重雄
五二	成田山吉
四四	中澤山吉
三一	大場徳太郎
一八	田中才太郎
一一	大場久吉

村(役場)の 歳入額 一万四千〇四 (秋田記)

編集部のつぶやき～編集後記～

今年は昨年比べて雪解けが2週間ほど早く、気づけばリンゴの花芽やマメコバチが動き出していました。春を迎え、一年が過ぎるのは本当に早いなぁと感じる今日この頃。広報担当も3年目に突入ということで、わかりやすい文章と見て楽しい広報づくりを目標に今後も取り組んでいきますので宜しくお願いします。

今月号の特集については、ニュージーランドにおけるリンゴ生産などに着目。大玉で甘味の強い品種や病害虫に対して耐病性をもったリンゴの開発、ロボットが収穫作業をおこなう時代を見据えた栽培方法など驚くようなことが沢山ありました。しかし、私は日本のリンゴが一番美しいと思います。海外に負けないように平成30年産リンゴも美味しい高品質なものを収穫できるよう、地域一丸となって頑張っていきたいと思います！

(S.daiiky)

今月の表紙

今年新発売されたフレッシュなリンゴジュースとフレッシュな新採用職員

四月の川柳
花芽見て
見えぬ根ツコの力見え
パラ五輪
驚異と感動人を励ます
いい温泉
二ヶ所の里は健康幸運

(田沢勝衛)



「花と緑の市」開催

開催期間：4月28日～5月13日

営業時間：9：00～16：00

場所：直売所「林檎の森」向い駐車場

今年も沢山の鉢花や野菜苗などを取り揃えて皆様のご来店をお待ちしております。

お問い合わせ：直売所「林檎の森」

TEL 0172-84-3411

理事会だより

3月20日(火)

- 2) 2月末残高試算表について
- 3) 組合員加入・脱退について
- 4) 組合員名義変更について
- 5) 職員給与規程の一部変更について
- 6) 農産物検査業務規程の一部変更について
- 7) 資産査定事務要領の一部変更について
- 8) 貯金規定及び貯金商品概要説明書の一部変更について
- 9) ローン融資要項及びローン商品概要説明書の一部変更について
- 10) 共済担保貸付の利率変更について
- 11) 貸付関係について
- 12) りんご販売関係について
- 13) 弘前地区JA経営問題研究会の参加について

今月のあなたの運勢★5月★

モサ・オサンドラ



♈ 牡羊座★ 3/21～4/19

全体運

ゆったり過ごせる期間です。好きなことに意識を向け、のんびり自分の時間を満喫しましょう。散歩もお勧め

健康運

栄養バランスに配慮すると、さらに好転

幸運を呼ぶ食べ物

トリガイ

♉ 牡牛座★ 4/20～5/20

全体運

積極性が高まる兆し。未経験の分野でも前向きにトライすれば、手応えがありそう。体を動かすことにもつき

健康運

体力アップを図る好機。より健康体に

幸運を呼ぶ食べ物

ゼンマイ

♊ 双子座★ 5/21～6/21

全体運

面倒見の良さを発揮することで、対人面に好影響が。持ち前の社交性を生かして。気分転換には音楽鑑賞が最適

健康運

軽いスポーツを楽しむと体調に好変化が

幸運を呼ぶ食べ物

キャベツ

♋ 蟹座★ 6/22～7/22

全体運

知的好奇心を刺激されやすい時期。やってみたいことがあれば、じっくり情報収集を。ネット関連の事柄も幸運

健康運

スキンケアを丁寧に。調子が上がりそう

幸運を呼ぶ食べ物

カツオ

♌ 獅子座★ 7/23～8/22

全体運

意地を張りやすい傾向大。人の意見やアドバイスには素直に耳を傾けた方が好結果に。開運には土いじりが有効

健康運

無理をしがち。疲れたら、十分な休息を

幸運を呼ぶ食べ物

ワカメ

♍ 乙女座★ 8/23～9/22

全体運

フットワークが軽くなる月。興味を引かれることに即チャレンジするなど、スピーディーな行動を。スポーツも◎

健康運

快適に過ごせます。大いに体を動かして

幸運を呼ぶ食べ物

ニンニク

♎ 天秤座★ 9/23～10/23

全体運

あれこれ考え過ぎてしまいそう。肩の力を抜き、気楽に構えましょう。リフレッシュには森林浴やハイキングへ

健康運

小さなけがに注意。慎重に行動すること

幸運を呼ぶ食べ物

モズク

♏ 蠍座★ 10/24～11/22

全体運

勢いがあるときはいいけれど、小さなことでつまづきやすい暗示。失敗を引きずらず、サッと気持ちを切り替えて

健康運

ストレス解消には軽い体操が効果的です

幸運を呼ぶ食べ物

コゴミ

♐ 射手座★ 11/23～12/21

全体運

珍しく神経質になりがち。やたらと後ろ向きな発想をしやすいため、意識してプラス方向に捉えるのが賢明

健康運

運動不足で太りやすい。クヨクヨもNG

幸運を呼ぶ食べ物

ジャガイモ

♑ 山羊座★ 12/22～1/19

全体運

楽しいことに縁あり。飲み会や旅行などに誘われたら、気軽に参加してみるとラッキー。芸術鑑賞も良い刺激に

健康運

適度な気晴らしが健康キープのポイント

幸運を呼ぶ食べ物

ゴボウ

♒ 水瓶座★ 1/20～2/18

全体運

親しい人に対して、つい口うるさくなってしまいがち。見守る姿勢を大切に。リラックスするには足湯がベスト

健康運

開運には不規則な生活習慣の改善が必須

幸運を呼ぶ食べ物

メロン

♓ 魚座★ 2/19～3/20

全体運

コミュニケーション運が活性化。初対面の人も楽しく話が弾みそう。人脈を広げた分、チャンスも広がります

健康運

姿勢を正せば健康面にうれしいご褒美あり

幸運を呼ぶ食べ物

アジ

ひとときを輝くパートナー

「おらほのりんごどきどき行く編」



メーカーが荷台を彩る



各箇所に芸術を施し、道行く人を魅了



三栄急送(株)のトラックが大坂に向けてJA相馬村を出発



丸形ロケットテールが連なる



サンふじを出荷



本所フルステで合流し、積み替え



地元をPR

暖かな春が到来し、平成29年産リンゴの出荷も終盤を迎えた。また、当JA管内のリンゴ園では昨年比で1週間ほど早い発芽日を迎え、春の農作業も本格化。平成30年産リンゴにも気合が掛かる。今回フルーツステーションを出発したのは、三栄急送株式会社トラック。煌びやかなトラック2台が顔を揃え、優しさ溢れるドライバーが一生懸命に汗を流していた。向かう先は、大阪市中央卸売市場本場にある仲卸業者(株)ニシダ。特選のサンふじを中心に約200ケースのリンゴとリンゴジュース400ケースが積み込まれた。リンゴジュースについては、当JAのジュース工場から三栄急送の中型トラックによって本所フルステステーションに運び込まれ、合流したのち大型トラックに積み替えて出発。チームワークが光るワンシーンであった。また、中型トラックについては、リンゴジュースを大型トラックに積み替えた後、王林・ジョナゴールド・サンふじ合わせて130ケース積み、広島に向けて出発。荷台に描かれる「黒石よされ」を背に、走り去っていった。



魅力

Part 2



農業振興課
広報担当
齊藤 大貴

JA相馬村広報

りんごの森 林檎

2018.4 Vol.429

- 発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497
- 編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp
- 発行日
2018年4月15日

JA 相馬村概況

〈平成30年3月末日現在〉

組合員数	884人
(うち准組合員数)	361人
出資金	638,860千円
貯金額	9,044,330千円
共済保有高	3,501,558万円